

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	ウェルビーポイント制度運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	平成29年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市かこがわウェルビーポイント制度実施要綱

【事業概要】

現状と課題	ウェルビーポイント制度への参加者を増やしていくためには、活動している人への広報に加えて制度参加者の口コミなどを通じて積極的に周知を行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民等による主体的な社会活動や健康活動への参加意欲を高め、また、活動の輪が広がることで協働の取り組みへの参加促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	対象活動に参加することで、ウェルビーポイントを付与する。また、ポイント利用のための制度を運営する。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		12,322 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	12,322 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	16 福祉コミュニティ費
細目	010 ウェルビーポイント制度運営事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	17,563 千円	15,216 千円	12,322 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	運用がICカード方式からQRコード方式に移行し、カードだけでなくスマートフォンのアプリでも使用できるようになり、利用者の利便性の向上につながった。今後も引き続きポイント制度の周知と参加者の拡大を図っていく。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	ウェルビーポイント制度運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
20歳以上の市民	人	216,702	216,531	216,400

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
カード配布枚数(累計)	枚	11,098	12,739	13,675
活動指標分析結果	コロナ禍を考慮しつつ、ボランティア活動等が実施されたことから、累計カード配布枚数は1.07倍に増えている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
ポイント発行数	千ポイント	4,272	3,372	3,693	令和3年度	6,500
ポイント発行数(特別会計含む)	千ポイント	8,396	5,732	6,358	令和3年度	12,248
学校園に寄附されたポイント数	千ポイント	4,115	1,891	2,486	令和3年度	4,500
成果指標分析結果	コロナ禍を考慮しつつ、ボランティア活動等が実施されたことから、ポイント発行数(特別会計含む)は、6,358,250ポイント(前年比約1.11倍)であり、学校園へ寄附されたポイント数は2,486,231ポイント(前年比約1.31倍)と増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	大学連携推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	広報・行政経営課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	平成30年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	市内企業・団体が抱える課題の解決に向け、専門的な知見を持つ大学と連携した取組を実施している。企業課題については市ホームページやSNSなどで募集しているが、企業からの応募がなくマッチングにはつながっていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	大学の専門的な知見による行政課題の解決、新聞紙面やチラシによる広報効果(知名度向上)を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内企業・団体(行政組織を含む)の抱える課題
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	行政・大学・地元メディアが地域の課題解決に取り組む「加古川『知』を結ぶプロジェクト」において、学生が加古川市の課題を調査研究し、その解決策を提案するプレゼンテーションを実施する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	28千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	28千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	080 大学連携推進事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	76千円	14千円	28千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	プロジェクトの仕組みはある程度確立され、提案が実現した事例もあるが、プロジェクトの認知度を高め、参加企業・団体の数を増やすなど改善の余地がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	大学連携推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	広報・行政経営課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加企業・団体数	団体	5	4	6

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
提案件数	件	5	4	6
成果報告会参加者数	人	150	64	100
活動指標分析結果	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、市役所と甲南大学をリモートで繋ぐオンライン開催とし、最小限の参加人数で実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
提案実現件数	件	1	0	2	令和8年度	3
成果指標分析結果	平成30年度事業では2件、平成31年度事業では1件の提案が実現している。実現には至らずとも、提案の内容を今後活かしたいとの意見・感想をいただいているケースもある。令和3年度は提案の内容をもとに計画策定や業務改善を行うなど課題解決につなげることができた。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	核兵器廃絶都市宣言事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	昭和33年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	原水爆禁止加古川市協議会会則

【事業概要】

現状と課題	戦後70年以上が経過し、戦争体験や被爆体験者の高齢化が進む中、被爆体験の風化や若い世代を中心とした平和意識の低下・希薄化が懸念されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	原水爆を禁止し、人類共存の世界平和を実現するため、非核平和の重要性を広く市民に周知し、市民の平和意識の高揚を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、市内の小学生(4年～6年)・中学生とその保護者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	広島市、長崎市平和祈念式への代表派遣。広島平和の親子バスツアーの実施。原爆写真展の開催。核兵器廃絶宣言都市啓発懸垂幕及び横断幕の掲示。出前講座「後世に語り継ぎたい平和への願い」の実施。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	157千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	157千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	90 諸費
細目	005 核兵器廃絶都市宣言事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	1,629千円	155千円	157千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	核兵器の廃絶や戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する市民の認識を深め、意識を風化させず、また、次世代に語り継ぎ、豊かな市民生活の維持向上を図るためにも本事業は継続して実施していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	核兵器廃絶都市宣言事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市立の小学生（4年～6年）及び中学生の数	人	14,261	14,229	14,187
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	262,308	260,878	259,603

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
広島平和の親子バスツアー申込者数	人	80	0	0
原爆写真展の開催	ヶ所	3	2	2
活動指標分析結果	親子バスツアーについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い令和2年度に続き中止となった。また原爆写真展については、市役所新館10階及びウェルネスパーク図書館の2ヶ所で開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
広島平和の親子バスツアー参加者数	人	79	0	0	令和8年度	80
広島平和の親子バスツアー感想文集発行冊数	冊	135	0	0	令和8年度	135
成果指標分析結果	親子バスツアーについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い令和2年度に続き中止となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	市民の顕彰事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	昭和40年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市功労者表彰条例、加古川市功労者表彰条例施行規則、加古川市民さわやか賞表彰要綱

【事業概要】

現状と課題	市民の意識高揚といった顕彰による効果を高めるためには、功労者やさわやか賞受賞者の功績を広報紙やWEBサイトへの掲載及び記事提供等にて周知する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	受賞者の功績を称え、感謝の意を伝達するとともに、これらの顕彰を行うことで、様々な分野での市民の意識高揚を図る。
対象 ※誰、何に対して	市の公益増進、市政の発展に尽力した方。文化、スポーツ、ものづくりその他の分野においてめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えている個人又は団体。国・県の栄典・褒章基準に合致する個人又は団体。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各部局から推薦のあった方について、加古川市功労者表彰選考委員会に内申を行い、表彰者の決定を経て市制記念日等に表彰式を行う。また、加古川市民さわやか賞表彰要綱等に該当する個人又は団体について、内部の意思決定を経た後、表彰する。さらに、各部局を通じて推薦のあった国・県の栄典・褒章の基準に該当する個人・団体について、叙勲、兵庫県功労者表彰等の上申を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,179千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,179千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	01 一般管理費
細目	017 市民の顕彰事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,262千円	411千円	1,179千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後、ますます市民との協働による市政運営が重要となってくることから、市政の推進、地域振興や芸術文化など多様な場面で活躍、貢献されている方の励みとなる本事業は継続していく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	市民の顕彰事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
功労者表彰対象候補者数	人	21	11	7
さわやか賞表彰対象候補者数	人	29	6	37
国・県褒章対象者上申数	人	17	10	14

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
功労者表彰者数	人	21	8	7
功労者表彰選考委員会開催回数	回	3	1	1
さわやか賞表彰者数	人	29	6	37
活動指標分析結果	感染症対策により減少していた全国規模の競技大会等の機会が元に戻りつつあるなか、さわやか賞の表彰者数が増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
功労者表彰延べ受賞者数	人	585	593	600	令和8年度	605
さわやか賞延べ受賞者数	人	702	708	745	令和8年度	747
成果指標分析結果	延べ受賞者数は順調に増加している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	平和祈念事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	平成29年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	戦後70年以上が経過し、戦争体験や被爆体験者の高齢化が進む中、被爆体験の風化や若い世代を中心とした平和意識の低下・希薄化が懸念されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	過去の戦争の惨禍に心を向け、平和の尊さを次世代に継承していくため、広く市民に周知し、市民の平和意識の高揚を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市平和祈念式を開催し、市民が平和を考える機会を設ける。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		1,237千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,237千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	90 諸費
細目	007 平和祈念事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,890千円	1,197千円	1,237千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川市平和祈念式の開催により、様々な世代の市民が参加し、平和を祈る機会を設けることができている。今後は、参加者数の増加に向け、アンケートの結果等を参考とした内容の検討や、PRの工夫が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	平和祈念事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	262,308	260,878	259,603

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
集まった折り鶴数	羽	254,205	296,548	348,924
活動指標分析結果	前年度を上回る折り鶴が集まり、この事業が平和と向き合う機会の一つとして市民に浸透してきたものと捉えている。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
平和祈念式参加者数	人	460	292	266	令和8年度	500
アンケート調査による効果測定(満足度)	%	85	86.9	94.9	令和8年度	85
成果指標分析結果	平和祈念式については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、式典形式ではなく展示会形式で実施し、名称も「平和祈念展」とした。平和祈念展に関するアンケートでは、9割を超える方から「非常に良かった」「良かった」との回答を得ることができ、平和意識の高揚につなげることができた。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	協働のまちづくり推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	平成30年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川市協働のまちづくり基本方針に基づき、市民及び市役所内部に協働による取り組みを推進していく。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が自主的にまちづくりに関わり、多様な主体が連携・協力して、社会や地域の課題を解決する。協働の相手方である町内会・自治会や市民活動団体を支援する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市政に参画する市民を増やすため、幅広い層の市民が集まって話し合う協働のまちづくり市民会議を開催する。地域課題の解決に向けた地域団体の組織化を支援するため、助言を行う地域コミュニティサポーターを派遣する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	404千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	404千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	16 福祉コミュニティ費
細目	005 協働のまちづくり推進事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	663千円	69千円	404千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>コロナ禍を配慮しつつ、WEB方式により熟慮講演会を実施するなど、市民会議を開催し、また、まちづくり活動レポートを冊子にし、町内会等に配付し、協働の取り組みを紹介した。引き続き、加古川市協働のまちづくり基本方針に基づき、協働によるまちづくりを推進していくための施策を展開する。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	協働のまちづくり推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
協働のまちづくり市民会議参加者数	人	61	0	42
町内会・自治会数	団体	321	319	317

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
協働のまちづくり市民会議開催回数	回	1	0	1
地域コミュニティサポーター派遣回数	回	1	0	0
活動指標分析結果	市民会議については、熟慮講演会をWEB方式とするなど、コロナ禍に対応しつつ開催した。また、地域コミュニティサポーターはコロナ禍を踏まえ、派遣していない。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
市民活動や行政との協働が図られていると思う市民の割合	%	53.5	53.1	52.1	令和3年度	47
協働のまちづくり市民会議参加者の満足度	%	100	0	97.3	令和3年度	90
成果指標分析結果	「市民活動や行政との協働が図られていると思う市民の割合」及び「協働のまちづくり市民会議参加者の満足度」は目標を達成しているが、さらにその割合を上げていきたい。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくり事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	令和3年度 ~
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川河川敷は、JR加古川駅から歩いて行くことができるが、ランニングやサイクリングやソフトボール等のレクリエーション以外では殆ど活用されておらず、市民が河川には近づきにくく、利用しにくい状況である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	転出超過による人口減少に歯止めをかけるため、JR加古川駅から歩いて行くことができる加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくりに取り組むことで、市民の地元への愛着や誇りの醸成を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	JR加古川駅から歩いて行くことができる加古川河川敷の「かわ空間」と「まち空間」が融合する良好な空間形成に取り組む。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	13,624千円	
財源内訳	国庫支出金	6,609千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,015千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	120 加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくり事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	13,624千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	「加古川市かわまちづくり計画」を令和4年3月に策定した。今後は計画に基づき、国・市・市民活動団体等の協働と役割分担のもと、ソフト事業の実施や施設整備を進め、加古川河川敷に新たな賑わいの創出を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくり事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民	人	264,847	263,524	262,349

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市かわまちづくり協議会等開催回数	回	0	0	5
シンポジウムやワークショップ等の開催回数	回	0	0	4
協働のまちづくり推進事業補助金(河川敷の賑わいづくり)を活用したイベント開催件数	件	0	0	9
活動指標分析結果	加古川市かわまちづくり計画の策定に向け、定期的に協議会や会議等を開催するとともに、市民の参画を促すため、シンポジウムやワークショップを開催した。また、河川敷にて協働のまちづくり推進事業補助金を活用したイベントが多数開催された。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
河川敷のイベントへの来場者の総数	人	0	0	64,007	令和9年度	100,000
まちなみの緑化や河川敷等の活用に満足している市民の割合	%	0	0	59.6	令和8年度	63
「かわまちづくり・ミズベリングかこがわ」の市民認知度	%	0	0	8.5	令和9年度	50
成果指標分析結果	シンポジウムやワークショップの開催や加古川河川敷でのイベントが定期的実施されることで、加古川河川敷で楽しむ市民が増加するとともに、かわまちづくりに対する市民の関心が高まってきている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	選挙常時啓発事業	部局名	選挙管理委員会事務局
		課(室)名	選挙管理委員会事務局

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	公職選挙法第6条第1項

【事業概要】

現状と課題	平成28年の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられている。有権者の政治・選挙離れにより投票率が低下している状況で、特に20、30歳代の若年層の投票率が低いが、即効性のある投票率向上のための啓発方法は見出せていないのが現状である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	政治・選挙に対する意識の高揚を図る。また、選挙啓発ポスターの作成を通して、選挙の重要性を考える機会の創造を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内の有権者及び市内の小・中・高等学校に通学する児童・生徒
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	政治・選挙をテーマとした講座の開催、小・中・高等学校生を対象とした不正のない明るい選挙や投票参加を呼びかけるポスターの募集及び出前授業の実施。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	303千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	303千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	04 選挙費
目	02 選挙常時啓発費
細目	005 選挙常時啓発事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	346千円	797千円	303千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>政治講座を実施し、政治に関心を持つ機会を提供し、政治意識の向上を図った。将来の有権者に対する主権者教育の一環として、市内の小・中・高等学校生を対象に選挙出前授業、実際の選挙に使用する投票機材の生徒会選挙への貸出、明るい選挙啓発ポスターコンクールを行い、選挙・政治に対する意識の醸成を図った。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	選挙常時啓発事業	部局名	選挙管理委員会事務局
		課(室)名	選挙管理委員会事務局

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内の有権者数	人	220,344	220,148	219,446
市内の小・中・高等学校に通学する児童・生徒数	人	26,420	25,997	25,549

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
政治講座等開催回数	回	4	3	3
選挙出前授業開催回数	回	1	3	1
ポスターコンクール応募件数	件	1,538	533	1,130
活動指標分析結果	3公民館において政治や選挙制度についての講座を開催した。(2回は東播3市明るい選挙推進協議会事業として開催。)市内小中高校生を対象に選挙啓発ポスターを募集し、1130件の応募があった。高校1校での出前授業及び中学校・高校で模擬投票体験を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
政治講座等出席者数	人	349	148	183	令和4年度	150
選挙出前授業参加者数	人	840	73	224	令和4年度	150
ポスターコンクール応募率	%	5.82	2.05	4.42	令和4年度	4
成果指標分析結果	即効性のある啓発方法が無く限られた予算の中で、事業内容の充実を図り、より効果的に事業を継続して実施することが必要かつ重要である。政治講座の参加者数が伸び悩んでいるが、身近な事柄と政治を関連付けたテーマで参加者数の増加を目指す。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	会館運営協議会負担事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	覚書

【事業概要】

現状と課題	市内13カ所の地区集会所と1カ所のスポーツ広場の管理運営のため、各施設の運営協議会に負担金を交付している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	利用者の利便を図り、地域のコミュニティづくりに役立てる。
対象 ※誰、何に対して	地区集会所等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地区集会所等を管理運営するための経費の一部を市が負担する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	22,215千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	22,215千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	010 市民センター事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	23,485千円	22,215千円	22,215千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地区集会所等の円滑な運営に必要な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	会館運営協議会負担事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区集会所(会館・広場)数	箇所	15	14	14

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設利用回数	回	8,403	5,950	7,203
活動指標分析結果	微増しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用回数が少ない状況である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	147,674	95,460	112,506	令和8年度	140,000
成果指標分析結果	微増しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が少ない状況である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地域課題調整事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	毎年全市民センターで、年間多数の相談を受けており、地域にはさまざまな課題が多数存在している。今後も同様に、地域課題の相談が寄せられるものと思われる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の特性に応じた地域解決型のまちづくりを推進する。
対象 ※誰、何に対して	地域住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民生活に密着した地域課題を把握し調整を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	5,718千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,718千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	025 地域課題調整事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	6,831千円	8,339千円	5,718千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地域解決型の課題対応を行うとともに、青パトによる地域及び学校園の安全パトロールなどを実施し、地域の安全の確保等に必要事業である。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地域課題調整事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	262,308	261,041	259,603

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域課題件数	件	938	845	920
活動指標分析結果	概ね予想された件数であった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
地域課題取扱件数	件	938	845	920	令和8年度	900
成果指標分析結果	概ね予想された件数であった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川市コミュニティ助成事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市コミュニティ助成事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	助成金は1件当たり250万円が限度で、例年1～2件の助成を実施している。実施の有無及び件数については、一般財団法人自治総合センターから毎年9月下旬頃に募集があり、翌年4月に採択結果の通知がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティの形成及び発展を図る。
対象 ※誰、何に対して	自治総合センターから一般コミュニティ助成事業者として事業採択された団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	自治総合センターから一般コミュニティ助成事業者として市が受け入れる助成金額を、団体へ補助金として交付する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	7,400千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	7,400千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	025 地域課題調整事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	2,500千円	7,500千円	7,400千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	当初予算時においては、県の事業採択が確定しておらず、事業採択の確定をもって補正予算による対応を行っているため、当初予算時の事業費は0とする。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川市コミュニティ助成事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会・自治会数	団体	321	319	318

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コミュニティ助成申請件数	件	3	13	10
活動指標分析結果	令和3年度については2年度と同様、新型コロナウイルスの影響により、一般財団法人自治総合センターが助成する各種ソフト事業が中止となり、中止事業分を地域コミュニティ活動に活用する目的で追加募集が行われたため、申請件数が多くなっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
コミュニティ助成件数	件	1	3	3	令和8年度	1
成果指標分析結果	令和3年度については2年度と同様、新型コロナウイルスの影響により、一般財団法人自治総合センターが助成する各種ソフト事業が中止となり、中止事業分を地域コミュニティ活動に活用する目的で追加募集が行われたため、助成件数が多くなっている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地区集会所活動支援環境整備事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	令和3年度～令和3年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域活動の拠点となる地区集会所等における換気機能強化などの感染症対策にかかる経費の支援を行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安全かつ効率的に地域活動に取り組める環境整備の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	地区集会所等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地区集会所等における新型コロナウイルス感染症対策経費の一部を市が負担する。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		2,600千円
財源内訳	国庫支出金	2,600千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	045 地区集会所活動支援環境整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	2,600千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地区集会所活動支援環境整備事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区集会所(会館・広場)数	箇所	15	14	14

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設利用回数	回	8,403	5,950	7,203
活動指標分析結果	微増しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用回数が少ない状況である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	147,674	95,460	112,506		0
成果指標分析結果	微増しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数が少ない状況である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	会館整備事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	西神吉会館を快適に利用できる状態にする。
対象 ※誰、何に対して	西神吉会館の修繕
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	西神吉会館のカーテン・ブラインドを修繕する。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		248千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	248千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	010 市民センター事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	1,298千円	248千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地区集会所を整備し快適に利用できる状態にする。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	会館整備事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	加古川市民センター

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区集会所(会館・広場)数	箇所	0	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設整備件数	箇所	0	1	1
活動指標分析結果	予定した施設の整備が完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
施設整備済件数	箇所	0	1	1		0
成果指標分析結果	予定した施設の整備が完了した。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	協働のまちづくり推進事業補助金交付事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	平成29年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市福祉コミュニティ条例、加古川市協働のまちづくり推進事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	市民活動団体が実施する公益的な事業が、地域課題の解決に寄与する活動にまで発展していないことがある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	町内会・自治会、市民活動団体、事業者などの多様な主体が、それぞれの特徴を生かしてともに地域の課題解決に向けて取り組む。
対象 ※誰、何に対して	公益的な活動を実施している団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民活動団体等が自主的かつ主体的に実施する公益的な事業に要する経費の一部を補助する。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		10,064千円
財源内訳	国庫支出金	2,311千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,753千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	16 福祉コミュニティ費
細目	005 協働のまちづくり推進事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	2,414千円	2,094千円	10,064千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	公益的な活動を実施している市民活動団体等を支援することにより、多様な主体が連携することを促進し、それぞれの特徴を生かしてともに地域の課題解決に向けて取り組むことができる。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	協働のまちづくり推進事業補助金交付事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金申請団体数	団体	16	21	33

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付団体	団体	14	14	27
補助金交付額	千円	2,354	2,003	10,011
活動指標分析結果	コロナ禍を考慮した事業を実施したことに加え、テーマ設定型を「加古川河川敷を活かしたにぎわいづくり」に変更したことで補助金交付団体及び補助金交付額が増加した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業が計画通りに実施できた団体の割合	%	87.5	66.7	72.7	令和3年度	100
補助金交付団体数（累計）	団体	52	66	93	令和3年度	99
成果指標分析結果	コロナ禍を考慮しつつ、引き続き、団体が計画通り事業を実施できるよう、サポートしていく。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	行政事務委託事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域の核である加古川市町内会連合会に行政事務の一部を委託し、市内全域への広報紙の配布や各種行政委員の選出を行うことで、市の負担軽減や地域コミュニティの活性化に繋がっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市町内会連合会を通じて各種行政事務を実施することで、地域行政事務を効率的に実施するとともに、地域活動の維持及び活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市町内会連合会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	行政事務の一部を委託する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	95,752千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	95,752千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	23 自治振興費
細目	010 自治振興事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	95,618千円	95,410千円	95,752千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川市町内会連合会及び行政双方のニーズやその変化等に留意しつつ、さらなる協働を図るため、本事業を継続させるべきと考える。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	行政事務委託事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会	321	319	317

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
依頼業務件数	件	228	58	76
チラシ配布枚数	枚	4,727,882	2,762,046	3,527,831
委員推薦件数	件	28	23	19
活動指標分析結果	各課からのチラシ等の量が多く、運搬・仕分け等が町内会役員の負担となっていたため、以前より、広報かこがわの紙面を活用するよう各課に協力を依頼していた。また、令和2年度以降は仕分け作業や回覧による新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、各課に全戸配布文書や回覧文書の削減を依頼した。以上より、令和2年度以降のチラシ等の配布部数は減少している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
町内会加入世帯数	世帯	96,029	95,882	96,374	令和8年度	98,000
成果指標分析結果	行政側の状況に左右される面も大きいほか、世帯の転入・転出や町内会等への加入・非加入にもよるため、計画値及び見込値を設定することは難しい。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	市町内会連合会補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市町内会連合会運営補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	住民同士のつながりの重要性が見直される中、地域住民の絆づくりと地域力の向上を図るため、加古川市町内会連合会が行う調査研究、研修、地区会議助成事業等が担う役割は大きい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	町内会活動が自主的で活発なものになる。
対象 ※誰、何に対して	加古川市町内会連合会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市町内会連合会が行う調査研究、研修、地区会議助成事業などの運営経費の一部を補助する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	23 自治振興費
細目	010 自治振興事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	3,000千円	3,000千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市では新型コロナワクチン予防接種事業をはじめ、様々な対策を講じており、それらの事業の財源に充ててもらったため、本補助金の辞退の申し出があったが、今後については、活発で自主的な町内会活動を促進し、市との協働によるまちづくりを推進するため、本事業を継続させるべきと考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	市町内会連合会補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区町内会連合会	地区	25	25	25
単位町内会・自治会	町内会・自治会	321	319	317

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区別行政懇談会を実施した地区	地区	25	0	0
研修会開催回数	回	26	14	17
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症の影響により、地区別行政との懇談会については実施ができず、地区研修会についても実施ができなかった地区があった。市町内会連合会主催の町内会長研修講演会は実施できた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
地区別行政懇談会参加者	人	459	0	0	令和8年度	600
町内会長研修講演会参加者	人	232	173	184	令和8年度	316
地区連合会調査研修会参加者	人	555	201	417	令和8年度	600
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症の影響により、地区別行政との懇談会については実施できず、地区研修会についても実施ができなかった地区があった。また、市町内会連合会主催による町内会長研修講演会については新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年より参加者が若干増加した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	町内会等活動支援環境整備補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	令和3年度～令和3年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市町内会等活動支援環境整備補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	地域活動の拠点となっている集会施設等における換気機能の強化や情報通信技術(ICT)を活用できる環境整備が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	町内会等が安全かつ効率的に地域活動に取り組める環境整備の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市町内会連合会に属する町内会等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の集会施設における感染症対策として、換気機能の強化やウイルスの飛散防止を図り、また、情報通信技術を活用した環境を整備する町内会等に対して、その事業に係る経費を補助する。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		40,752千円
財源内訳	国庫支出金	38,450千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,302千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	23 自治振興費
細目	025 町内会等活動支援環境整備補助事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	40,752千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	町内会等活動支援環境整備補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会数	件	0	0	317

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会等補助件数	件	0	0	218
町内会等補助金額	千円	0	0	40,620
活動指標分析結果	令和3年10月からの事業開始であったが、多くの町内会等が本補助金を活用できた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
補助金申請率	%	0	0	68.8	令和3年度	100
成果指標分析結果	多くの町内会等が本補助金を活用できた。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	自治集会所整備補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	01多様な主体と行政との協働
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市集会所整備事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	自治集会所の整備は、地域においても相当な準備期間や住民合意が必要であり、市への事前相談の段階では不確定なことも多い。市としても限られた予算で対応するため、事前相談の事業計画段階から事業実施時期や事業費について確認し、予算執行状況に鑑みながら事務を行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティの重要性が見直される中、地域住民の活動拠点である自治集会所の建設や機能整備が行うことで、地域の絆づくりと地域力の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市町内会連合会に属する町内会等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	町内会又は隣接町内会が集会所の新築、増改築その他の整備事業を行う場合に要する経費の一部を補助する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	27,340 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	27,340 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	23 自治振興費
細目	015 自治集会所整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	30,870 千円	16,530 千円	27,340 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業の目的を達成するため、現状の事業手段(集会所の新築、増改築その他の整備事業を行う場合、その経費の一部を補助)を維持することが適切と考える。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	自治集会所整備補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会数	件	321	319	317

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内会等補助件数	件	16	11	13
町内会等補助金額	千円	30,870	16,530	27,340
活動指標 分析結果	13件、27,340千円の補助金を交付した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
自治集会所整備率	%	86.5	86.5	87.3	令和8年度	88
成果指標 分析結果	昨今の経済状況や土地にまつわる複雑な権利関係、地域住民による同意形成の難しさから、整備計画が予定通り進まないことが多々ある。なお、集会所の整備率（集会所の有無）の把握は可能であるが、維持管理に係る成果の把握は難しい。					